

別紙2

「主任介護支援専門員として実践の振り返りと指導及び支援の実践
(スーパービジョン) 課題」の課題について

岡山県主任介護支援専門員研修の「スーパービジョン」の科目は、各自の実践事例をもとに演習を行います。以下の項目に留意し、11月29日(水)必着で事例を提出してください。

[留意事項]

- 研修で使用した事例は、毎回回収し適切に主催者において処理をいたしますが、個人や各サービス事業所が特定されやすい情報は、**符号化し個人情報**の保護に十分ご注意ください。
なお、提出いただいた事例課題は返却いたしません。
- 事例は、別紙「提出事例の書き方」を参考にして、A4サイズで3枚～5枚程度にまとめてください。(様式は任意)
- 1枚目に事例提出者の受講番号、氏名、所属機関名を明記してください。

その他、ご不明な点は下記までお問い合わせください。

一般社団法人
岡山県介護支援専門員協会 事務局
〒703-8258 岡山県岡山市中区西川原 251-1
おかやま西川原プラザ別館
(TEL) 086-953-4953
(FAX) 086-953-4954
(メールアドレス) web@gia-ocma.org

■提出事例の書き方

「まとめる形式・項目と内容」¹⁾

1. 提出者自身のプロフィール

所属機関の概要、普段の業務や実践内容、提出者の立場や職務、介護支援専門員以外の資格、介護支援専門員として業務につく前の職歴や介護支援専門員としての経験年数など、実践現場を理解する上で必要な情報をまとめてください（箇条書きでも良い）。

2. タイトル；必ず事例の表題をつけてください。

事例の特性や検討してもらいたいことなどを参考にご自身で自由に表現してください。

3. 提出理由・事例選定の理由

なぜ、多くの実践事例の中から、この実践事例を選んだのか。選定理由（条件や内容へのこだわりなど）、また検討したい点が具体的にどのような内容であるのか。

4. 事例の概要

事例全体を概観しての、おおまかなあらすじ、利用者の置かれている状況が分るような要約・基本情報などをまとめてください（利用者の年齢、性別、健康状態、既往歴、現病歴、現在の状態、生活歴、家族構成、ジェノグラム（家族関係図）、家族の状況、住居、地域の状況、経済状況など）。

5. 援助開始までの経過と開始時の状況（事前情報を含む）

援助者自身の関わりが始まった経緯や初めて要介護者、家族等の利用者に出会った際の様子などについて、できるだけ詳しくまとめてください。

6. 初期段階の援助経過

- ①紹介経路・援助開始にいたるまでの経緯、事前情報、依頼や引継のあった内容など。
- ②初回面接時の様子（利用開始時の様子、利用者や家族の様子、および提出者が関わりを始めた段階での様子）、このときに把握された情報、利用者の印象、初回のアセスメントの内容・援助目標や方針・援助計画など。
- ③初期（インテーク段階）に確認された利用者に関する基礎情報を記載してください。（先の「5」事前情報と重複している情報も、簡素に記載してください。）
- ④今回の事例提出段階で把握されている利用者に関する情報を記載してください。（特に、先の「5」・「6-③」と相違・変化、追加している情報を中心に記載してください。）
- ⑤当初段階のアセスメントおよび援助（支援）計画の内容

7. 上記6以後の援助経過、対応や事実経過

必要に応じて、時系列的に要約記録・逐語記録等により記述する。事実経過だけではなく、援助者側の判断やアセスメント、印象等についても記述する。利用者さんの現在のエコマップも是非描いてください。

8. 検討したいコミュニケーション場面の内容

今回の機会に検討したいと感じているコミュニケーションの場面、これまでの関わりで気になったり悩んだりしているコミュニケーションの場面について、会話記録や逐語記録を交えてまとめてください。双方のやりとり内容（逐語録：気にかかっている場面を想起して）を記入してください。

